

私どもラビドール御宿では、ご入居の皆様に対し、年次報告として令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)運営報告会を令和6年7月23日(火)ダイニングルームにて開催し、多数の方が出席されました。

当財団の代表理事挨拶からスタートし、専務理事による管理費改定のお願い、ホーム全般と診療所の運営を支配人から報告があり、財務部長が財務諸表について分かり易く説明しています。

運営報告書は、事前にご入居者に配布し、事前質問を受け、当日の質問もありました。この質問の中から、読者の皆様にも参考になると思う質問と回答を下記に掲載致します。

### 記

事前質問：財団運営において補助を受けている事業名と事業費及び補助額、補助事業者を教えてください。

回 答：当財団は、民間の財団法人であり、施設運営に関わる補助は、国や千葉県等からの補助は受けておりません。

高齢者施設の運営において、行政による補助事業について、いくつかありますが、その対象になる施設は特別養護老人ホーム等の福祉施設が主になります。

当施設においては、介護職員の労働力の軽減を目的とした「ICT導入支援事業」や感染症拡大防止としての「簡易陰圧装置の設置に係る経費支援事業」等がございますが、いずれも少額であり、継続的な事務手続きも必要であり、当施設は、補助事業の申請は行っておりません。

事前質問：円建て外債の有価証券の購入について考え方を教えてください。

回 答：当財団が保有している有価証券は、売買目的の有価証券ではなく、全て満期保有目的の有価証券です。満期まで保有する意図を持っている債券で、一定期間ごとに利息が発生し、その利息目的で長期間にわたり保有する債券で、資産を増やすことは重要ですが、リスクの少ない、ある程度の利率が見込めることが基本の考えです。

ホームを選ぶポイントはいくつかありますが、その法人が健全に運営されているのか資金面も含め、情報開示の姿勢も判断材料として重要です。

以 上